

ビジネス科の課題研究発表会が紹介されました。

考案の観光プラン発表

飛騨高山高生33人、知識深め

飛騨高山高校岡本キャンパス（高山市下岡本町）で17日、ビジネス科3年の課題研究発表会があった。「高校生 勝手に地元応援プロジェクト」として、本年度は33人の生徒が高山市内の観光プランを考案。約70人の下級生らに成果を披露した。

同科ではコロナ禍だった2021年から、地元の各業界の活性化策を探る授業を実施。今回は外国人観光客へのインタビューのほか、新穂高ロープウェイなどへの訪問、行政関係者やコンサルタントらの講義で知識を深め、若者らしい視点でアイデアを練った。

この日は六つの班が、長

期滞在や田舎訪問、自然散策などのプランを発表し、指導役も務めた地元観光関係者らが審査。それぞれが運営したSNSへの反応も加味し、奥飛騨を中心に体験活動を楽しむ「飛騨高山

を愛し、飛騨高山に愛された女子高生」を提案した班が最優秀に選ばれた。

同班の大津真衣さん（18）は「市街地でやっている手筒火花が山間部では難しいことなど、私たちの考えが実行できないこともあると教えてもらった。地域の企業などの方々と関われる経験は貴重だった」と振り返った。（鈴木智行）



観光プランを発表する生徒たち＝高山市の飛騨高山高岡本キャンパスで